

# オオルリシジミ保護回復事業計画の評価検証結果について（概要）

## 1 オオルリシジミについて

- ・オオルリシジミは、陽当たりのよい草原を主な生息場所とする蝶類で、全国的には長野県と九州阿蘇地方のみに生息し、長野県内では安曇野市、東御市、飯山市で確認されている。
- ・『長野県版レッドリスト（動物編）2015』で絶滅危惧 IB 類。指定希少野生動植物。
- ・計画策定年度：平成 19 年度（2007 年度）

## 2 計画の目標・取組事項

### (1) 計画の目標

#### 【共通】

- ・自然個体群が安定的に生息する状態に回復・維持
- ・食草となるクララの確保により、生息可能域の拡大

#### 【安曇野市】

- ・寄生蜂等のオオルリシジミ定着阻害要因の解明

#### 【東御市】

- ・放蛹による個体群の現状維持

#### 【その他の地域（飯山市）】

- ・植生管理等により生息範囲拡大
- ・捕獲を防止する体制強化

### (2) 取組事項

- ・生態調査、生息環境の確保、監視活動と啓発活動、飼育個体の野外導入

## 3 計画策定以降の対象種の動向

指 標	計画策定時	評 価 時	動向
自然発生集団数	平成 19 年（2007 年） 3 地域	平成 26 年（2014 年） 3 地域	➡
自然個体群の回復 （安曇野市）	平成 19 年（2007 年） 放蝶個体が未定着	平成 26 年（2014 年） 自然発生が 5 年間継続	⬆
自然個体群の回復 （東御市）	平成 19 年（2007 年） 放蝶によらず自然発生	平成 26 年（2014 年） 自然発生が継続	➡
自然発生の個体数 （飯山市）	平成 19 年（2007 年） 234 個体（推定）	平成 24 年（2012 年） 32 個体（推定）	⬇
生息環境の保全状況	平成 26 年（2014 年） 安曇野市：良好 東御市：良好 飯山市：採集圧・樹林化が課題		➡
補 足 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野市の生息地では、当初放蝶を行っても未定着であったが、野焼きにより寄生蜂が抑制され、継続的な自然発生に繋がっていることから「増加」と判断した。</li> <li>・飯山市の生息地では推定個体数が減少していることから「減少」と判断した。</li> </ul>		

## 4 成果

- オオルリシジミの生育環境と生態の調査が進められ、自生地管理のための手法等が提案された。
- 従来から保全の取組がすすめられていた東御市、安曇野市に加え、飯山市の生息地で保全活動に取り組む認定団体が新たに設立され、また、保全活動団体間の情報共有が進められた。
- 東御市、安曇野市では、信州大学、保全団体、地域・企業（東御市）、生息地管理者（安曇野市）が連携して事業が進められ、継続的な自然発生が確認された。
- 飯山市では、計画策定以降、個体数が減少していることから、引き続き、計画の取組事項（生息環境の確保、監視活動と啓発活動等）を効果的に推進する必要がある。

## 5 専門委員会による保護回復事業計画の継続に関する判定と意見

### (1) 計画継続に関する判定：計画継続（部分的な修正を含む）

### (2) 付帯意見（概要）：

- ア 無脊椎動物専門小委員会の意見（生息が確認されていない場所への放蝶については学術団体のガイドラインを遵守する、県内における本種の遺伝的特性を明らかにする等）に対応すること。
- イ 各生息地で生息個体数の増減をできるだけ定量的に把握できるよう、調査員の育成や調査手法（ルートセンサス等）を検討すること。